



おおみなみ

『つどう・つながる・つむぐ』



令和8年度

練馬区立大泉南小学校

校長 皆川 伸一

令和8年4月7日

「ご入学・ご進級 おめでとうございます」

校長 皆川 伸一

春の柔らかな日差しが、校庭の木々を優しく包み込む季節となりました。この度、本校の校長として着任いたしました皆川 伸一(みながわ しんいち)です。96名の新入生、618名の子どもたちの瑞々しい笑顔と、活気に満ちた挨拶に迎えられ、身の引き締まる思いとともに、大きな喜びを感じております。

私は、学校経営の柱として3つの言葉、「つどう・つながる・つむぐ」を大切にしています。

第一の言葉は、「つどう」です。学校は、子どもたちはもちろん、教職員、保護者、そして地域の方々という、多種多様な人々が集う場所です。まず大切なのは、そこに集う一人一人の存在を認め合い、誰もが「自分の居場所がここにある。」と実感できることだと考えています。

第二の言葉は、「つながる」です。単に同じ場所にいるということではなく、対話を通じて心を通わせる関係性を指します。教育の主体は、決して学校の中だけに閉じているものではありません。保護者の皆様、地域の皆様が長年育んできた想い。それらが教職員の専門性と「つながり」、互いの強みを引き出し合うことで、初めて一人一人の子どもに最適な教育環境が整うのだと確信しています。

第三の言葉が、「つむぐ」です。日々の学びや、行事での感動、地域での体験。それら一つ一つの「糸」を丁寧に織り込み、この学校独自の教育文化を、皆様と共に編み上げていきたいと考えています。子どもたちが自らの人生を主体的に切り拓き、自分の物語をつむいでいけるよう、私たちは全力で伴走してまいります。

学校と家庭、地域がそれぞれの強みを持ち寄り、一つのチームとなって子どもたちの成長を支えていく。そんな「新しい物語」を、今日から皆様と共に紡いでいけることを心より楽しみにしております。一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

4月の生活目標 きまりを守って安全に生活をしよう